

Course number	U-LAS00 20001 LJ34				
Course title (and course title in English)	自己存在論 I Ontology of Self I		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Liberal Arts and Sciences Professor, ABE HIROSHI	
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)	Philosophy(Issues)	
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods	Thu.3		Target year	2nd year students or above	Eligible students For all majors

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

「自己存在」は人間存在を特色づける基本的な規定の一つであり、哲学史上、精神、主体、自己意識、実存、現存在、一人称といった概念の下で究明され続けてきたものである。時の古今を問わず、洋の東西を問わず、こうした考察が絶えず繰り返されているという事実は、「今ここにこうしてある私とは何者であるのか」という問いが、我々にとっていかに根源的であり、そしてまたいかに抜き差しならないものであるかをいみじくも物語っていると言えよう。

本講義のねらいは、そのような「自己存在」を基軸としながら、主として近現代の哲学における諸問題を考究し、もって受講者各人自身による思索の歩みを裨益せんとすることにある。

もとより「ゼルプスト・デンケン（自分で考え抜くこと）」は、決して一朝一夕になしうるものではない。だがそれこそが哲学をすることの生命であり、そしてまた一身を賭して試みるに値する事柄であることを受講生諸氏が本講義を通して感得されんことを冀ってやまない。

[Course objectives]

「ゼルプスト・デンケン（自分で考え抜くこと）」は、決して一朝一夕になしうるものではないとはいえ、それこそが哲学をすることの生命であり、そしてまた一身を賭して試みるに値する事柄であることを理解する。

[Course schedule and contents]

我々は独力で自存しているのではなく、好むと好まざるに関わらず、「生まれる」ことによって初めて存在する。その限りにおいて、自己存在を考究せんとする際には、世代の問題を避けて通ることはできまい。そして今日、この世代の問題の究察は環境問題との関連において、その重要性を益々増している。所謂「世代間倫理」を巡る数多の所説がその証左である。

今年度の「自己存在論I」では、世代間倫理の考察を通して、その眼目を詳らかにしていきたい。

目下のところ、以下のような課題について、1課題あたり3-4回の授業を行う予定である(但しこの予定は適宜変更される場合もある)。なお授業回数はフィードバックを含め、全15回とする。

1. 世代間倫理を巡る諸問題
2. K.-O. アーペルによる考察
3. J. ロールズによる考察
4. D. パーフィットによる考察

Continue to 自己存在論 I (2)

自己存在論 I (2)

[Course requirements]

哲学系科目I・II（哲学I・II、倫理学I・II、科学論I・II、論理学I・II等）の中、少なくとも一つを既修していることが望ましいが、そうでない場合にも本授業を履修して頂くことは可能である（その代わりに頑張ってお話に付いてきて下さい）。

[Evaluation methods and policy]

定期試験によって評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業中に指示する文献を予習し、筆記した講義ノートを復習する。

[Other information (office hours, etc.)]